

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和3年3月31日

提出区分	実績	整理番号	22	課題区分	C		
横断的な課題	北アルプス山麓地域ならではの生き生きとした暮らし・働き方の提案や仕組みづくりによる人口定着・人材確保への挑戦						
地域重点政策	北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり				北アルプス地域振興局		
実施機関	大町保健福祉事務所			担当課	所属	大町保健福祉事務所	
事業名	シニアの居場所づくり支援事業				電話	大町合同庁舎 内線2142	
				E-mail	omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	歩いて訪れることができる身近な地域において、多世代の人々が利用できる「居場所」がシニアの手によりつくられ、担われることにより、高齢者の生きがいがづくり、社会参加が促進される。					
	現状と課題	居場所づくりを進めようとする担い手の発掘や、実際に取組を進めるにあたり、開設の仕方、運営のノウハウ等様々な課題がある。一方で、シニアが身近な地域で「人とのつながり」を実感できる場所づくりに向けた取組は、既に大北各地でも行われているが、まだ地域に十分に知られていない状況にある。					
	内容 (変更後の内容)	1 まちの縁側講座 「居場所」づくりのための「縁側講座」の開催 ①松川村 2 居場所づくり実践に係る情報発信 地域のシニアが取り組んでいる「居場所づくり」の取組みを取材し、他のシニアの参加促進や新たな取組の参考となるよう、「シニアの居場所通信(仮称)」を作成し、地域のシニアや関係機関に配布する。(3回程度)					
	事業期間	令和2年7月		～	令和3年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	まちの縁側講座開催	松川村及び管内北部(白馬村または小谷村)においてまちの縁側講座を開催する。	28,415	11月再配当要求			
	居場所づくりに関する情報発信	シニアの居場所づくりの取組みを「通信」にまとめ定期的に地域のシニアに配布する。	33,217	7月再配当要求			
	合計		61,632				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	「地域の居場所通信(仮)」の地域のシニアへの配布数		300枚	300枚	● 達成		
	まちの縁側講座開催参加者数		各25名	30名	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	1 まちの縁側講座 令和2年12月1日に、松川村において「まちの縁側講座in松川村」を松川村社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会他の協力を得て開催、村内各地区でボランティア活動に携わっている方々を中心として30名の参加を得た。 問題意識を持ちながら、2コースに分かれて「まち歩き」を実施、その後のグループ討議においては、シニアがつながりを持つための方策について具体的なアイデアが出され、今後の同村内での地域づくりに応用できる内容となった。						
	2 居場所づくり実践に係る情報発信 地域のシニアが取り組んでいる「居場所づくり」の取組みをシニア活動推進コーディネーターが中心となって取材し、他のシニアの参加促進や新たな取組の参考となるよう、「シニアの居場所通信(コーディネーター通信)」を12月と3月の2回にわたり発行、地域のシニアや関係機関に配布した。(約300部 うち本事業費分170部)						
今後の方向性	今年度の取組を次年度も継続していく。						